

# 令和4年度 市民大学前期講座プログラム（案）

## 《新潟学コース》「日本の文化と季節の行事」

### 1 趣旨

私達の生活環境は多くの情報、便利な道具、多様な様式に囲まれています。しかしながら日本人として自国の伝統文化に触れる機会や鑑みる時間が少なくなっている様に見えます。そこで本授業では歴史背景から見る日本古来から受け継がれてきた季節の行事や日本家屋のあり方、それに伴う「しつらい（室礼）」の奥深さ、楽しさを学びます。日本文化が普遍的に変化しながら世界へと伝える力も築きます。

2 学習方法 前期：講義 講義：ゼミナール・実習

3 曜日・時間 火曜日 午前・**午後** 7 時 ～ 午前・**午後** 9 時

4 講座コーディネーター 生活文化研究家 坪井 蓉子

### 5 プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内容	講師
1	6/7	開会の挨拶 暦と行事	中国から入ってきた陰陽五行説の易学が日本の暦の元になっています。季節の行事と暦を紐解きます。	生活文化研究家 坪井 蓉子
2	6/14	行事菓子とお茶	疫病退散により始まった嘉祥菓子。願いを込めた和菓子の歴史と行事菓子を学びます。湊町の菓子をお茶と共に味わいます。	丸屋本店若女将 本間 由起子
3	6/21	床の間文化に見る軸	客をもてなす為に装飾を施す床の間。その床の間に施された書を見、画を読む文化を学びます。	新潟大学教育学部 教授 岡村 鉄琴
4	7/5	文化財級の看板	何気なく商店の看板を見ている日々に地域の歩み、背景に見える家々の誇りなど改めて新潟の看板を探し楽しさを学びます。	新潟大学教育学部 教授 岡村 鉄琴
5	7/12	香り文化と香道	仏教儀礼の香は供香として焼香を行います。香道における歴史を交え日本の香り文化を体験します。	香道講師 宇佐美 滋
6	7/26 公開	日本の絵の事	仏画、水墨画、絵巻物、浮世絵、油彩画-太古から現代まで絵の世界をいろいろな切り口で逍遙します。	美術評論家 大倉 宏
7	8/2	日本の住まいと町並み	縄文時代から現代まで列島で人々が住み暮らしてきた住まいの形をたどります。	美術評論家 大倉 宏
8	8/23	加賀の工芸の世界	加賀藩は文化政策の振興に力を入れ芸術観、美意識を表出し独自の数寄を築きました。伝統工芸と世界に発信する工芸文化を学びます。	陶芸家 中村 卓夫
9	9/6	茶の世界の楽しみ方	総合芸術と言われる茶道。柏崎の地である木村茶道美術館とは、茶道具とは、歴史を交え茶の湯の楽しみを学びます。	木村茶道美術館 館長 石黒 信行
10	9/13	花街の文化	花街は日本の伝統文化を包括的に継承する稀有な空間です。本講座では花街で触れられる有形、無形の伝統文化の魅力を紹介します。	旧斎藤家別邸学芸員 久保 有朋
		総括 日本文化の楽しみ方	庶民の中から生まれた生活文化、貴族、武士の世から生まれた芸術文化など日本文化を総括します。	生活文化研究家 坪井 蓉子